

ボーリング柱状図

調 査 名 平成18年度第RD-1号産業廃棄物最終処分場調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 1-1		調査位置	滋賀県栗東市小野地先			北緯		
発注機関	滋賀県琵琶湖環境部最終処分場特別対策室			調査期間	平成18年12月1日～19年6月29日		東経		
調査業者名	応用地質株式会社 関西支社 電話(06-6885-6357)		主任技師	大洞輝雄		現場代理人	中島俊	コ鑑定者	門原博幸
ボーリング責任者	川崎栄司								
孔口標高	138.93m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	東邦D0-C型
総掘進長	25.00m	度		向		エンジン	ハンマー 落下用具	ポンプ	

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相対調度	相対稠密度	相対稠密度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験						原位置試験		試料採取		室内試験 (月日)	掘進 (月日)		
										深 度 (m)	10cmごとの打撃回数			N 値	深 度 (m)	試験名および結果	深 度 (m)	試料採取番号	深 度 (m)			採取方法	
											0	10	20										
1				粘土混じり細砂	黒褐色			粘土混じり細砂。0.0~0.15m 黒褐色の表土。0.15~0.3m ゆるい砂。															
2	137.03	1.90	1.90						5/19													5/9	
3	136.23	0.80	2.70	粘土質シルト(互層)	淡茶灰			粘土分を多く含むシルトと砂の互層である。1.8-1.93, 2.15-2.23, 2.3-2.5, 2.67-2.70mにシルトはさむ															
4	135.23	1.00	3.70	中～粗砂	褐灰			中～粗砂。3.35~3.43シルト。2.7~3.35m シルトにはさまれ含水高い。特に3.0~3.2mは粗砂で含水高い。															5/10
5				中砂	赤褐			中砂を主体とし、赤褐色を呈す。3.7~6.0m 比較的淘汰の良い中砂。6.0~8.4m 粘土混じりで淘汰の悪い中～粗砂。															5/11
6				シルト・粗砂(互層)	褐灰赤褐			褐灰色シルトと黒褐～赤褐粗砂の互層。	5/21														
7	130.53	4.70	8.40	中砂	淡茶灰			中砂を主体とする。上位8cm程度は黒褐色を呈する。淘汰の良い中砂である。9.65~9.75mにシルトを狭在する。12.4m付近に雲母片を混入する。	5/15														5/14
8	129.63	0.90	9.30	粗砂	淡茶灰			粗砂。雲母片を混入する。															
9	128.73	0.25	12.55	細砂	淡茶灰			12.7~12.9m 酸化による縞形成。13.0~13.1m 粘土混り細砂。比較的淘汰よく、やや含水高い。13.65mに酸化褐色。															5/15
10	128.48	0.27	12.82	中砂	淡茶灰			14.2~14.3mは粗砂を含む。14.35~14.7mに雲母片を多く混入する。14.55m, 14.73m付近黒褐色化。															
11	128.21	0.27	13.09	粘土混り中砂	褐灰			粘土分を含み、褐色化した中砂。14.35~14.7mに雲母片を多く混入する。14.55m, 14.73m付近黒褐色化。															5/16
12	127.94	0.27	13.36	粘土混り砂	暗褐灰			1cm程度の黒色・白色の亜円礫を多く含む粘土混り砂。雲母片を多く含む。15.45m付近は礫少なく軟質。15.7m~15.8mには5mm程度の礫を多く含む。															5/17
13	127.67	0.27	13.63	中砂	淡褐灰			淘汰のよい中砂。含水中程度、下部で高い。15.95mに1cm程度の亜角礫含む。16.6~16.8mに1cm程度のチャート亜円礫を含む。															5/18
14	127.40	0.27	13.90	粘土混り砂礫	暗褐灰			最大4cmのチャート亜円礫を含む粘土混り砂礫。含水高い。上位ほど色調が濃く、大きな礫を含む。下位は3~5mmの礫を多く含む。															
15	127.13	0.27	14.17	粘土混りシルト	淡青灰			18.15~18.20mは酸化色を呈す。粘土混りシルトであり、所々に、黒褐色や赤褐色の酸化部を含む。粘土分は19.0m以浅に多い。															5/21
16	126.86	0.27	14.44	シルト質粘土	青灰			全体に有機物を混入する。非常に硬質で比較的均質である。全体に有機物が点在。非常に硬質。															
17	126.59	0.27	14.71	粘土質シルト	暗青灰			20.3m付近に小礫点在。20.4mは粘土分優勢。20.3~20.35, 20.45~20.50mは火山灰挟在。															
18	126.32	0.27	14.98	粘土質シルト	暗青灰			シルト質粘土が主体。局所的に細砂を混入。全体に不均質。															
19	126.05	0.27	15.25	礫混じり砂質粘土	緑青灰			20.85m以深礫(白色・黒色)の混入多い。21.20~21.40mは礫・砂多く混入。21.40~21.65mは礫少なく、含水高い。															
20	125.78	0.27	15.52	火山灰	灰			下部ほど良く締まり、角礫状に割れる。22.9mに1cm程度の暗灰色軽石含む。															
21	125.51	0.27	15.79	粘土	青灰																		



No. 1-1 0.00~25.00m



No. 3-1 0.00~31.00m